

平成29年度

# 組合資料収集加工事業

全国中央会では各都道府県中央会と連携し、年度ごとにテーマを決めて「先進的な事業に取り組んでいる組合」の活動事例を収集し、「先進組合事例抄録」として取りまとめ紹介する「組合資料収集加工事業」を実施しております。

本稿では、本会から取り上げた2組合を紹介します。

## 群馬県電気工事工業組合

### 電気工事業の魅力を県内高校生に伝える特別講義の開催

住 所	〒371-0855 群馬県前橋市問屋町1丁目8番4号		
電 話 番 号	027-251-5016	U R L	<a href="http://gun-denkoso.com/">http://gun-denkoso.com/</a>
設 立	昭和42年9月	出 資 金	59,280千円
主 な 業 種	電気工事業	組 合 員	741人

#### 背景と目的

電気工事業は建設業に分類され、専門技術者が送電線や電力機器などの設備の専門工事を行っている。小規模事業者組合員で構成される当組合は建設業の課題である人手不足に直面しており、組合が組合員企業をまとめ、県内の若手人材への働きかけを行い、電気工事業の魅力を伝え、人材の活性化を図ることが求められている。

#### 事業・活動の内容と手法

電気工事業は送電線、配電盤、電灯、電力機器などの設備の工事を行っており、専門性が高く、仕事も多岐にわたっているため、一般の人達に仕事の内容が理解されているとは言い難い。「電柱に上ってする仕事」というイメージが多くの人々の持つ認識である。

当組合では、平成22年より県内工業高校の電気系学科の1年生を対象として、特別講義の講師派遣を実施しており、実際に電気工事現場で行う作業を体験してもらっている。学校により40名の生徒に対して2~9名の講師が授業を担当し、機材を用いての実演や実習を行う。現場の感覚が伝わり、生徒も興味を持って実習に参加しており、取組みがユニークであることから地元の新聞でも取り上げられた。早くから学生に仕事の魅力を理解してもらい、当業界に興味や希望を持って進んでいただきたいとの期待から、学校の要請に応じて毎年実施している事業である。

講師担当は当組合の青年部会に所属する技術者であり、30歳代、40歳代の現場で中心となっている人材である。現在は数校ごとに年1回の特別講義を行っているが、多くの高校、多くの生徒に対して特別講義の回数を増やすため、体制強化を進めていくことを検討している。また人材活性化の視点で女性活躍の推進を図るためにも、この特別講義の内容をさらに進化させていきたいとしている。

#### 成 果

7年間継続してきた事業であり、活動が次第に浸透してきた。人手不足の解消に向けて直接的な効果を測定することは難しいものの、就職や転職の際、電気工事業が選択肢となることで、間接的な成果が期待できる。

活動が継続できている要因は、教育の現場との直接の接点があることが強みである。特別講義の内容も柔軟に対応し、学校からの満足度が高いことで継続的な事業となっている。



工業高校での特別講義の様子



特別講義では実演や実習も行う

①群馬県電気工事工業組合  
電気工事業の魅力を県内高校生に伝える特別講義の開催

②草津温泉旅館協同組合  
指さし会話帳アプリで、外国人観光客への接客力向上

## 草津温泉旅館協同組合

### 指さし会話帳アプリで、外国人観光客への接客力向上

住 所	〒377-1797 群馬県吾妻郡草津町大字草津39番地5		
電話 番 号	0279-88-3722	U R L	https://www.yumomi.net/
設 立	昭和31年12月	出 資 金	33,862千円
主 な 業 種	温泉旅館業	組 合 員	105人

#### 背景と目的

従来、組合員である旅館、ホテル、ペンションでは従業員が外国人観光客に接する機会が少なく、接客が不慣れであり、苦手意識も持っていた。全国有数の温泉地である草津温泉として、増加する海外からのインバウンド客に対応するには、従業員のコミュニケーション力を磨くことが急務であった。そこで、更なる販路拡大に向けて、スマホ・タブレット向けアプリ「指さし会話帳」を開発、導入した。

#### 事業・活動の内容と手法

スマートフォンのアプリ開発という新規性のある事業であるにも関わらず、導入がスムーズに進んだのは、組合員が抱えている現場の悩みを普段から実態把握していたことが大きな成功要因であった。現場の従業員は外国人観光客とのコミュニケーションに不安を感じているため、積極的な接客に結び付かないことが課題であったが、「女将の会」のアイデアやスマートフォン、タブレット端末といったIT活用で解決の道を見出せた。現場では仲居や夜間の警備担当者等が外国人観光客とのコミュニケーションを取れるようになり、顧客側の満足度向上が図れ、従業員側では接客の自信につながった。自信は従業員の向上心にもつながり、外国語の学習意欲の促進効果もあったために草津温泉全体の印象も高まっている。経費面では補助金を活用し、運営面では組合員が参画できる体制作りができたことも成功要因であった。

現在、利用者1,000人を目指しているが、まだ途中段階の300人である。スマートフォン利用者は増えており、また操作性も向上しているため、「草津温泉・指さし会話帳」も使う人のシーンに踏み込み、更なる機能改善を図ることで利便性が高まる。加えて、アプリ内のコンテンツの拡充も必要である。最近提供を開始した災害対応版も好評であったことを考えれば、組合員からアイデアを出してもらいながら、優先度をつけてアプリの改善と充実を進めていきたい。

#### 成 果

新規性の高い取組みは事務局だけの事業となりがちであるが、今回の事業では従業員の現場で役立つスマートフォンアプリの導入という成果が得られた。その要因は、現場の悩みが解決できる取組みであったこと、女将の会に牽引してもらえたこと、及び補助金事業であったために事業期間の厳守が全員に徹底されたことが挙げられる。



アプリ内のコンテンツは  
随時拡張することが可能



指さして音声を発する  
ことができる